

書名	泣き寝入りしないための 民法相談室	出版年 (西暦)	2003年
著者・編者	伊藤 真 伊藤 塾	出版社	平凡社新書
学部・研究科	人文学部 社会科学科	学年	2年
法律って・・・、			
法律を専門にしないが、教養の時間に法律の授業をとる人はたくさんいると思う。			
しかし、その際に法律って難しい、めんどくさいという印象を持ってしまう。重くて分厚い六法ややたらとでてくる専門用語は法律を専門としない人にとってはつまらないし、法律が嫌いになってしまう。			
「法律なんて自分は専門ではないから関係ない。」「法律を授業でとったけどぜんぜん面白くなかった。」という人にこそこの本を読んでもらいたい。			
章ごとに用語を日常に起きうるトラブルを使って説明して、そこから、出会いたくはないが日常に起きうるトラブルについてのクイズ感覚の問題と解説、法律の条文を読むことができる。発展としては、司法試験の問題から作られた問題が載せられていてちょっと法律に詳しくなった気分味わえる。			
法律についての知識がなくてもなんとなく感覚でクイズは解け、民法を身近なものだと思えるようになった。いざというときのためだけではなく、法律って意外と身近なもの、授業では小難しく表現していたけど実際はこんなことと理解するきっかけになれるような本だと思う。			
私にとってこの本は「法律って面白い!」と思えるきっかけになった本だ。			